



▲甲賀駅 北口



▲広く空間をとった甲賀駅南北をつなぐ自由通路



▲甲賀支所周辺の道路整備



▲市営駐車場が隣接する貴生川駅南口



5 広報あいこうか 2008.4.1

です。
このように、単なる道路が集まる駅でなく、地域に根ざして人が集い、出会い、交流する安全・安心・快適な駅とまちのネットワーク構築に向けた整備が進んでいます。

地域をつなぎ、くらしのまちづくりを

～甲賀駅周辺地区～
葉や忍者に代表される地場産業や歴史・文化資源が並ぶ甲賀駅周辺地区。以前は、駅が南北地区を分断するかたちとなり、まちの拠点としての機能が十分発揮できていませんでした。平成17年度、地域を連携し利便性を向上させるため、また、だれもが使える

るやさしい駅へ、駅南北をつなぐ自由通路を配したバリアフリーの橋上駅を整備しました。あわせて周辺の道路整備も進んでいます。

駅周辺地域では、住民主体の地域活動が盛んで、駅舎整備を経て、まちづくりへの機運、団結が高まっています。

市最大の交通ネットワーク拠点、さらに使いやすく

～貴生川駅周辺地区～
信楽高原鉄道、近江鉄道の発着点でもあり、多くのコミュニティバスが巡回するJR貴生川駅は、通勤、通学、買い物などに多くの人が利用することから、ピーク時に利用者にとって、利用しやすいことが重要です。

このため、周辺では道路渋滞の緩和のため、道路右折だまりや南広場の整備をしています。

また、自動車を最寄り駅近くの駐車場に停め、公共交通に乗り換えて目的地へ出かける「パーク&ライド」を進めるため、24時間利用可能な駐車場の整備するなど、利用しやすい駅であるための周辺整備を進めています。

便利が便利を生む

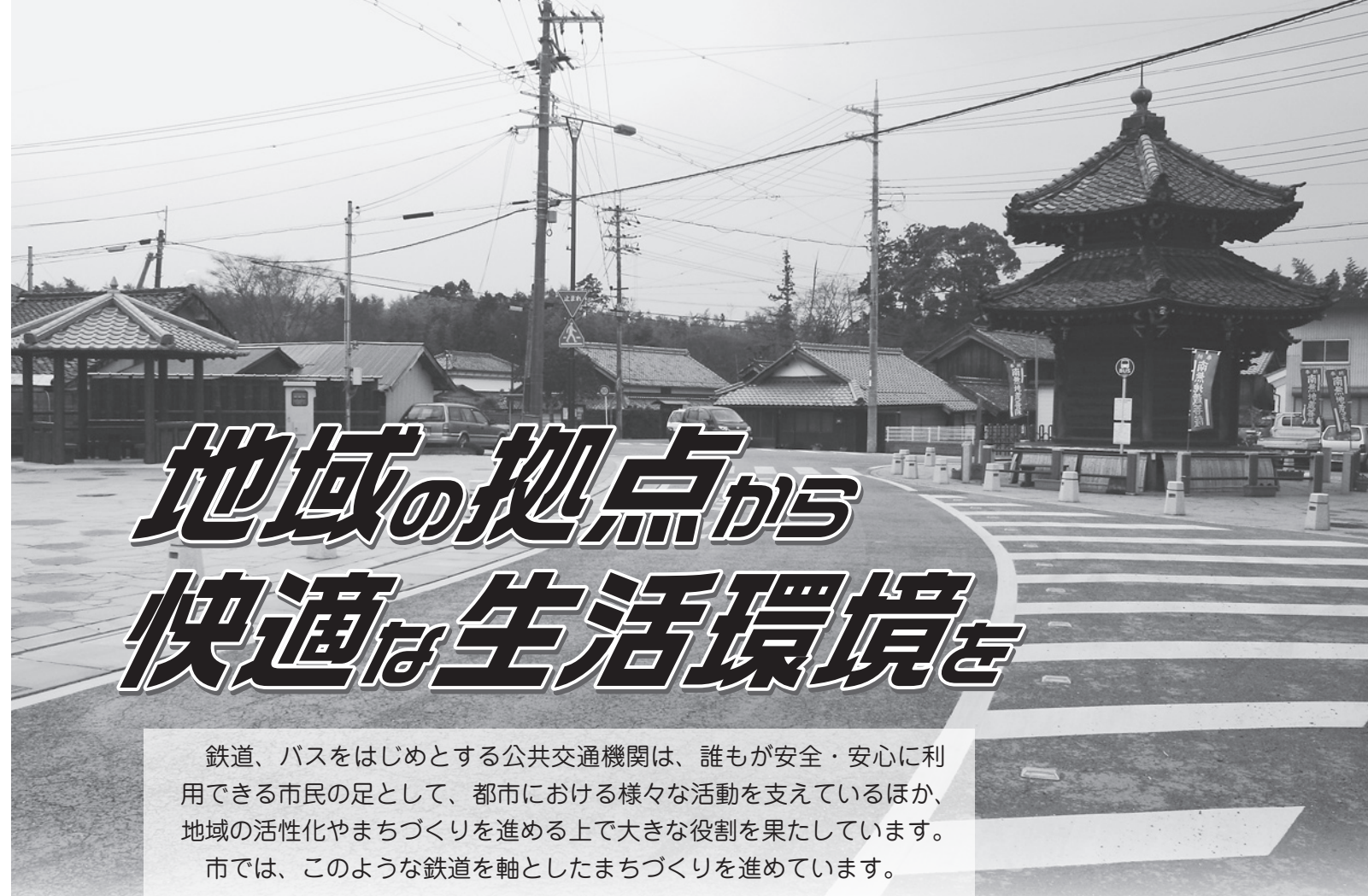
市では、事業者と一体となり、鉄道やコミュニティバスの利便性の向上を図り、誰もが移動しやすいまちづくりを進めています。

利便性の向上は、利用者の増大につ



▲国道307号右折だまり

▲寺庄駅北側の市道整備



地域の拠点から 快適な生活環境を

鉄道、バスをはじめとする公共交通機関は、誰もが安全・安心に利用できる市民の足として、都市における様々な活動を支えているほか、地域の活性化やまちづくりを進める上で大きな役割を果たしています。市では、このような鉄道を軸としたまちづくりを進めています。

さらなる発展のために

一度に多くの人を運び、定時性や安全性に優れた鉄道やバスは主要な公共交通機関です。

近年、地球環境の保全や高齢社会への対応などの面からも公共交通機関の重要性がますます高まっています。

特にJR草津線は、甲賀市を走る主要な公共交通機関として、まちの様々な活動を支えてきました。しかし、JR草津線は単線であり、ラッシュ時も含め時間帯の列車本数には限りがあります。

JR草津線の複線化は列車本数の増加や、利用者の状況にあわせてより細かいダイヤが期待でき、沿線地域における産業振興や観光開発をはじめ、経済・文化



写真④ 周辺の基幹道路となる寺庄神谷線
写真⑤ 事業が進む土地区画整理

ポイントからエリアへ

通勤、通学をはじめ、毎日多くの人が集まる駅の周辺地域は、商業や住宅など、多くの生活の場があります。

市では、このエリアは地域の活性化につながる重要なエリアと位置づけ、インフラ（社会的基盤）整備を進めています。

柚の六角を生かした魅力ある市街地へ

～寺庄駅周辺地区～
古くから交通の要衝として栄えた寺庄八角堂周辺地区。

来春、新名神甲南インターチェンジが開通し、また、甲南フロンティアパークへ企業立地が進み、生活基盤として都市的魅力や賑わいの再生が期待されます。

こうしたなか、駅を中心とした交通網の整備、誰もが集い安らげる交流の場づくり、暮らしを支える安全で快適な基盤整備を目的に、周辺道路整備の他、土地区画整理や公園の整備などが進められています。また、今年度から年次的に駅舎の改築にも着手する予定です。

の活性化に不可欠なものです。

市では、さらなる発展のため、動脈として重要な役割を持つJR草津線複線化の実現を強く要望しています。